

スマホ決済について

現金による支払いの手間を省くことができるなどさまざまなメリットがあるスマホ決済。一方で、第三者による不正利用などのトラブルも発生しています。スマホ決済を安心して使うためにその仕組みと注意するポイントについてお知らせします。

■ スマホ決済の仕組み

スマホ決済は、スマートフォンに支払い専用のアプリをインストールし、そこにATMなどから現金を入金したり、銀行口座、クレジットカードの情報を登録し、代金を支払うキャッシュレス決済の一つです。

● スマホ決済の例

◎ タッチ決済（非接触型決済）

スマートフォン本体を店舗などの端末機にかざして決済する支払い方法で、交通系ICカードのアプリなどが代表的です。

◎ コード決済

インストールしたアプリの決済用のバーコードやQRコードを消費者のスマートフォンまたは店舗などの端末機が読みとる決済方法です。〇〇ペイ（Pay）と呼ばれるものが代表的で、最近は公共料金なども支払うことができる場合もあります。

◎ キャリア決済

スマートフォンで利用した音楽やゲーム、インターネットショッピングなどの利用料や代金を携帯電話の通信・通話料金と合わせて支払う方式です。携帯電話会社（キャリア）が提供する決済サービスが代表的です。

● 支払いのタイミング

◎ 商品等購入の前に現金などでチャージ（前払い）

あらかじめ一定の金額を店舗やATMなどでアプリにチャージし、その金額の範囲内で支払う。

◎ 商品等購入と同時に支払う（即時払い）

アプリに銀行口座やデビットカードを登録し、購入と同時に預金等の範囲内で支払う。

◎ 商品等購入の後に支払う（後払い）

アプリにクレジットカードを登録して、購入から1～2か月後に支払う。

〇〇Pay 〇〇払い



コラム

支払履歴は必ず確認しましょう

後払いでは不正利用や使い過ぎに早めに気づくためにも、スマートフォンで決済した金額は必ずその場で確認し、支払完了時のメールやレシート、利用履歴を残しておきましょう。